



紙おむつ

長期保存可能な紙おむつ。すぐサイズが変わってしまうため、ワンサイズ大きいものを備蓄しておくと安心。



離乳食

そのままの状態ですぐ食べられるベビーフード（瓶詰など）があると安心。中には1年以上保存できるものも。



粉ミルク & ほ乳瓶

いつもは母乳の方も、避難所などでは人目が気になったり、出が悪くなることも。予備としてキューブタイプやスティックタイプとほ乳瓶を準備。衛生面から使い捨てできるほ乳瓶もある。

上に行くほどより緊急

避難指示（緊急）

災害が発生する等、人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令されます。

避難指示（緊急）が出たら…

まだ避難していない場合は、ただちにその場から避難しましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難しましょう。

避難勧告

災害による被害が予想され人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令されます。

避難勧告が出たら…

避難場所へ避難しましょう。地下空間にいる人は、速やかに安全な場所へ避難しましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告や避難指示（緊急）の発令が予想される場合に発令されます。

この情報が出たら…

いつでも避難できるように準備しましょう。避難に時間を要する方（高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等）は避難を開始しましょう。

少し、避難指示等の名称が変わったらしい。

防災週間

Bosai-Check!!

これ知っておこう。

昨年12月26日、

「避難指示」が「避難指示（緊急）」

「避難準備情報」が

「避難準備・高齢者等避難開始」という名称に変更されました。

それぞれの情報が出されたら、自分がどう行動すべきか、改めて確認しておいてください。

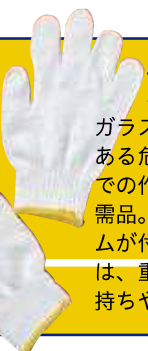


あると便利な備蓄グッズ（一例）



ウェットティッシュ

断水して、水が使えない状況でも様々なものを拭くことができる。シャワーの代わりに体を拭くことも可能。



軍手

ガラス片などがある危険な場所での作業には必需品。表面にゴムが付いたものは、重いものも持ちやすい。



カイロ

防寒具としていくつか常備したい。防寒のほかに、赤ちゃんの離乳食をあたためる際にも活用できる。



ろうそく

電気系統が全滅して、更に機器の電池切れの時など、最終的に役立つろうそくはマッチやライターと一緒に。



入れ歯ケースと洗浄液

避難所などで夜眠るときに、意外と困るのは、入れ歯の置き場所。中身が見えるタイプだと、周囲に気を遣うことになるため、見えないタイプがオススメ。中には電池式で紫外線除菌できるものも。



常備薬と手帳

高齢者が避難所で生活するうえで注意したいのが感染症。常備薬はもちろん、避難所での処方に備えお薬手帳のコピーを用意しておくで安心。



ゼリー飲料

パンや乾燥した食品が喉を通りづらいことも。栄養と水分を一緒に摂れる万能飲料。保存可能期間は半年程度。

もしものとき、いつものようにスマホが使えらるとは限りません。

電話、つながらなかつたらどうする？

① 避難場所を決めておく



ハザードマップは、総務課消防交通係（内線 1106）で配布しているほか、町ホームページでも確認できます。

町が配布している防災ハザードマップで、近くの避難所などを家族で確認して、万が一の際に避難する場所をあらかじめ決めておきましょう。

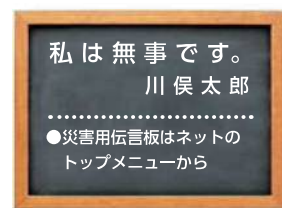
② ダイヤル「171」を使う



ダイヤル
171
覚えておこう

大災害発生時に「171」をダイヤルすると、伝言を音声で残すことができます。残した音声で家族などが全国どこからでも安否確認できます。

③ 災害用伝言板を使う



携帯各社のインターネットトップメニュー「災害用伝言板」に、誰でも伝言を登録できます。また、電話番号をもとに伝言を確認できます。

Point!!



「もしものとき、どうするか？」一番大事なことは、
普段から、家族みんなで話し合っておくことです！



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか 10 分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

① 速やかな避難行動

② 正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト



武力攻撃やテロなどから身を守るために
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

▲ 事前に確認しておきましょう。

メールが届いたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や地下に避難する。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下！

● 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

● 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。